

平成26年度 予算特別委員会付帯意見および回答

平成26年3月定例会後に町長に提出した付帯意見に対する回答が5月22日に提出されましたのでご紹介します。

意見1 自治会育成支援事業 について

自治会育成支援事業補助金については、多くの住民の参加を促し、地域が活性化するように図ること。

回答 町内自治会の自治活動及び地域づくり活動を支援することにより、住民主体のコミュニティ活動の醸成から、過疎地域の自立促進を図ることを目的に、八峰町自治会育成支援事業補助金要綱を制定。行政協力員会議等で周知の上、多くの住民が参加し持続的に地域の活性化に寄与する事業に補助金交付するよう努める。

意見2 婚活協議会について

男女の出会いの応援事業など広く情報を収集し、婚活に関するあらゆることを検討する町独自の協議会を設置されたい。

回答 出会い・結婚支援事業については、あきた結婚支援センターや秋田県北NPOセンターと連携し、婚活情報の提供やイベントの参加促進を図っているほか、町内民間団体等が実施する「八峰町結婚サポート」応援事業に補助金を交付し、出会いの場づくりを支援している。幅広い世代から結婚サポート事業に対する意見や提言を頂き実践することは必要と考え、協議会の設置も含め検討する。

意見3 退職職員の再任用 制度について

退職職員の再任用については、住民の視野に立つて理解が得られるような給与体制をすること。

回答 国家公務員の再任用職員の給与体系に準じており、当町もこれに準じた条例となっている。このうち、給料の格付けについては、条例で定められている6段階のうち、下から3番目の3級に格付けしている。この格付けは、全国的にも一番多い格付けとなっており、他の自治体と比較しても高くない。民間の再任用の状況は、義務とはいえない状況は、義務とはいえない状況の普及はこれからという状況を踏まえ、近隣の自治体の状況を考慮しながら、住民に理解が得

意見4 ジオパーク事業の 今後について

日本ジオパーク認定後の波及効果を見極め、世界自然遺産白神山地との一体性を図りながら、教育のブランド化を主体とした将来的なビジョンを策定すべき。

回答 八峰白神ジオパークのメインテーマは「白神の恵みに生きる」であり、これまでも世界自然遺産白神山地との関係を売りに事業を展開しており、ふるさと学習など、教育面での成果は徐々にあがってきている。しか

平成26年5月1日に行われた第2回臨時会 ではこのようなことが決まりました

議員発議

●八峰町議会委員会条例の一部を改正する条例制定
常任委員会の名称、委員の定数及び所管を右のとおり改正しました。

選挙

●八峰町選挙管理委員及び同補充員
選挙管理委員
工藤俊和 武田ムツ子 下坂順子
小林金則
選挙管理委員補充員
加賀洋子 米森吉清 山本友文 若狭幸江
いずれも任期は4年間です。

専決処分

●専決事項
八峰町税条例の一部を改正する条例・八峰町国民健康保険税条例の一部を改正する条例・八峰町一般会計補正予算（第11号）・八峰町沢目財産区特別会計補正予算（第2号）・八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）を全会一致で承認しました。

一般議案

●物品の取得
八森地区統合子ども園の幼児専用バス2台1,200万9,600円の購入契約締結について議決しました。
●工事請負契約の締結
八森地区統合子ども園の外構工事8,748万円の契約締結について議決しました。

人事案件

●八峰町監査委員
日沼照美氏（再任・浜田）
柴田正高氏（再任・議会推薦）
●八峰町教育委員
千葉良一氏（再任・中浜）
阿部昌子氏（新任・水沢）

議会構成

●議長 芦崎達美
(選挙結果 芦崎達美7票、柴田正高5票)
●副議長 門脇直樹
(選挙結果 門脇直樹12票)
●総務民生常任委員会
委員長 菊地 薫
副委員長 皆川鉄也
委員 腰山良悦
柴田正高
嶋津宣美
芦崎達美
●教育産業建設常任委員会
委員長 山本優人
副委員長 水木壽保
委員 鈴木一彦
笠原吉範
須藤正人
門脇直樹
●議会運営委員会
委員長 鈴木一彦
副委員長 嶋津宣美
委員 笠原吉範
腰山良悦
柴田正高
●議会広報編集委員会
委員長 門脇直樹
副委員長 嶋津宣美
委員 笠原吉範
水木壽保
門脇直樹

●能代山本広域市町村圏組合議会議員
芦崎達美 鈴木一彦 腰山良悦
●能代市山本郡養護老人ホーム組合議会議員
皆川鉄也
●秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員
芦崎達美

定数・所管

■総務民生常任委員会 6人
総務課、企画財政課、会計課、管財課、税務課、福祉保健課、町民生活課、幼児保育課、町営診療所、議会事務局、その他の委員会に属しない事項
■教育産業常任委員会 6人
農業委員会、建設課、産業振興課、農林振興課、教育委員会

